

平成20年12月11日
原子力安全対策課
(2 0 - 8 3)
<16時30分記者発表>

敦賀発電所 1号機の定期検査状況について (中央制御室換気空調系外気取り入れダクトの腐食)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所 1号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力35.7万kW）は第32回定期検査中（平成20年11月7日開始）であるが、本日13時45分頃、中央制御室換気空調系*の送風機試運転時に換気系室の点検を行っていたところ、当該系統の外気取り入れダクトに腐食孔（2箇所）があり、当該部から外気の吸い込みがあることが確認された。

今後、腐食孔の発生原因等について調査を行う。
本事象による周辺環境への放射能の影響はない。

※ 中央制御室換気空調系

通常は外気を取り入れて中央制御室の換気を行うが、事故時には外気を取り入れを遮断し、中央制御室の空気をフィルターを介して内部循環させる系統。

今回の腐食孔は、事故時の外気取り入れの遮断に影響を与える可能性があることから、法令に基づき国に報告する事象に該当する。

(経済産業省による I N E S の暫定評価尺度)

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
—	—	0+	0+

I N E S : 国際原子力事象評価尺度

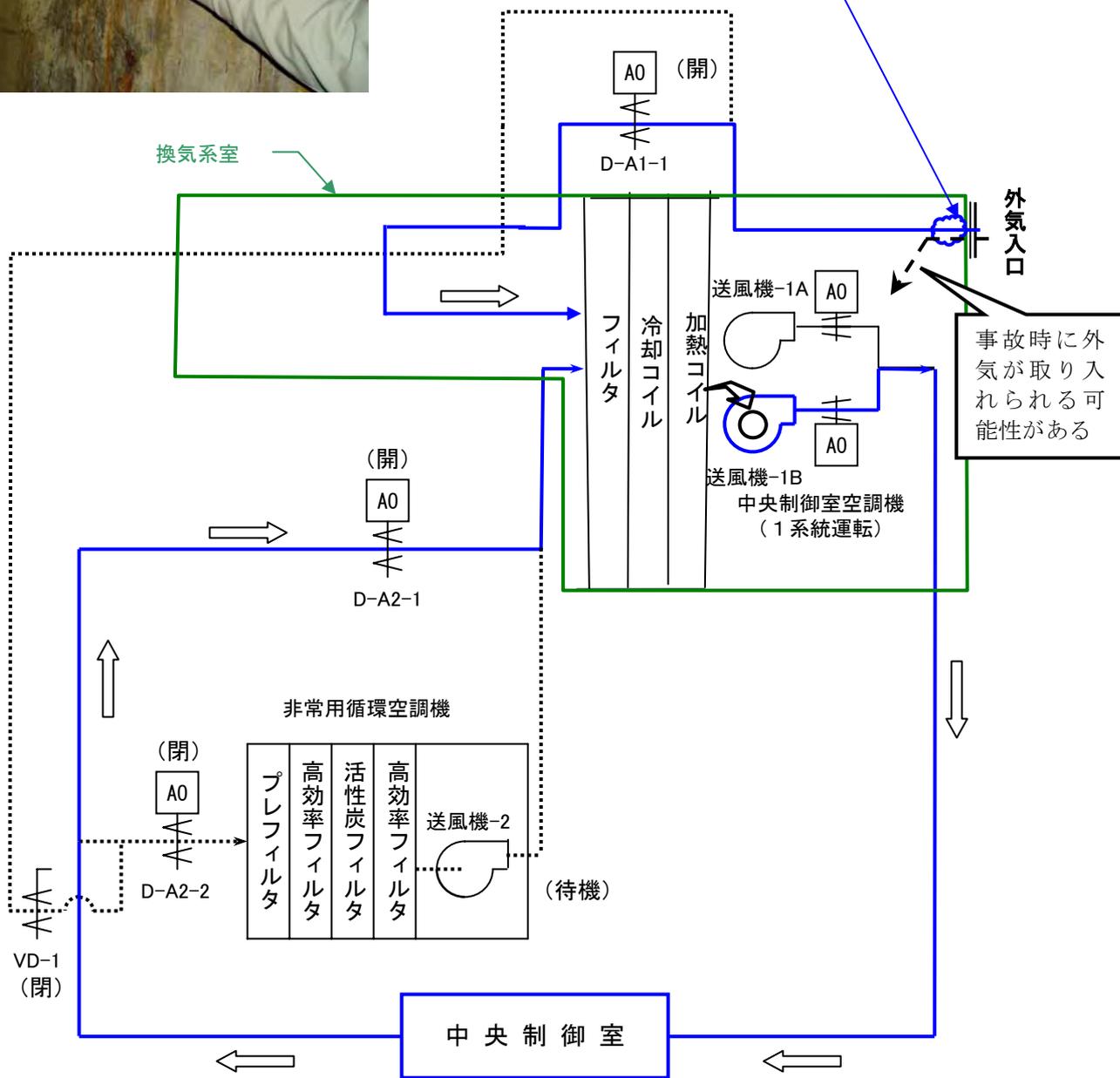
問い合わせ先(担当: 吉田)
内線2352・直通0776(20)0314

中央制御室換気空調系系統図



外気取入れダクト寸法：約56cm×約61cm

腐食箇所
(2箇所)
約20cm×約10cm、約10cm×約10cm



注) 実線：運転状態を示す。
破線：非常時運転状態を示す。